UNI-PEX

SDレコーダーユニット

取扱説明書

AU-500

このたびは、SDレコーダーユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本機はSDカードに収録されたMP3形式データの再生、及び本機が接続された機器の音声を録音するためのレコーダーです。使用する記録媒体はSDカード（別売）です。用途に適した容量のものを別途ご用意ください。

目　次

安全上のご注意……2、3
免責事項について……4
本機を長期間お使いの場合……4
特長……5
準備作業……6、7
　□SDカードの準備……6、7
　□ＭＰ3音源の準備……7
　□バックアップの勧め……7
各部の名称と説明(前面)……8
操作方法……9～17
　□通常再生のしかた……9
　□プログラム再生のしかた……10
　□再生の停止、一時停止のしかた……11
　□音量調節のしかた……11
　□スピード調節のしかた……11
　□リピート再生のしかた……12
　□リレー再生のしかた……12
　□ランダム再生のしかた……12
　□再生時のご注意……13
　□録音について……14、15
　□録音時のご注意……15
　□録音のしかた……16、17
設定方法……18～24
　□消去のしかた……18、19
　□プログラムの編集……20～23
　　登録……20、21
　　消去……21、22
　　修正……22、23
　□フォーマット（初期化）のしかた……24
組込方法……25
自動電源制御機能について……25
優先制御と通電切換の変更のしかた……26
SDカードの挿入方法……27
エラーメッセージの説明……28
故障と思う前に……29
著作権法について……29
定格……30
外観寸法図……30

SDカードファイルリスト……32

安全上のご注意 必ずお守りください

●ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

●お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(上図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

定期点検を実施する

専門の業者(技術者)による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに組込機器の電源を切り、販売店などにご連絡ください。

取付作業、及びお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。

専用機器以外に接続しない

この機器は専用機器に組み込んでご使用いただくように設計されています。専用機器以外に接続すると火災、感電、けがの原因となります。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

SDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

表示部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源を切り、販売店などにご連絡ください。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

SDカード挿入口に異物を入れない

火災や感電の原因となることがあります。

廃棄は専門業者に依頼する

燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。

取り付ける機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って取り付けてください。

１年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など

②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害

③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害

④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害

⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

お願い

●本機を長期間お使いの場合

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

・外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～③の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

①煙りが出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。 ②本機に触れるとビリビリと電気を感じる。 ③電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

特 長

●本機は、SDカードを用いたＭＰ3(MPEG1 Audio Layer-3)音源の再生、録音機能をもったレコーダーです。

1)ＳＤカードを採用し、様々なメモリ容量に対応

・小容量の16ＭＢから大容量の2ＧＢまでの容量に対応。
・30時間程度の長時間再生、録音が可能。

2)簡潔な操作と表示

・表示にはグラフィカルな液晶を採用。バックライトで昼夜明瞭なインフォメーションを提供。
・ダイレクトでわかり易い操作を実現。

3)豊富な再生方法

・通常の連続再生に加え、シチュエーションに合わせた豊富な機能搭載。
・再生速度を±15段階で変化させる事が可能。

4)録音機能搭載

・搭載機器で鳴動している音声の録音が可能。
・各種録音保護機能搭載。

5)故障が少ない

・機械的な、磨耗や劣化による故障がない。
・振動、衝撃による音とびがない。

準備作業

□SDカードの準備について

・本機のご使用にあたってはSDカード（別売）を別途ご用意してください。
用意するにあたって下記の点にご注意ください。
・SDカードは、SD規格で使われているロゴタイプ（右記参照）が明示されたロゴのものを使用してください。

SDロゴは商標です。

・対応しているSDカードは16ＭＢ～2ＧＢの9種類です。下記に録音時間の目安を記載いたしますので、その中から必要に応じた容量のカードを選択してください。
・SDHC（SD High Capacity）規格のSDカードには対応しておりません。

ご使用可能なＳＤカードについて

●一部のメーカーや特定のＳＤカードで、本機器ではご使用頂けない場合がございます。正常な動作を確認できたSDカードについては、弊社営業所又はお客様相談窓口までお問合せをお願い致します。

SDカードの録音時間のめやす

カードの容量	16MB	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
	約15分	約30分	約1時間	約2時間	約4時間	約8時間	約16時間	約32時間

注）ミニSDカード、SDHCカード、及びマイクロSDカードは使用不可

・SDカードは本機でフォーマット（初期化）したものをご利用ください。
市販のものをそのまま用いた場合や、パソコン等本機以外の機器でフォーマットを行った場合、データが破損したり、正常に録音、再生が行われない恐れがあります。
・本機以外のパソコン等でフォーマットを行う場合はSDカードフォーマッター※1をお使いください。（24頁フォーマットのしかた参照））

※1　http://panasonic.jp/support/audio/sd/download/sd_formatter.html

・ｍｉｎｉSDカードやｍｉｃｒｏSDカードは使用しないでください。アダプタの仕様により動作しないものがあります。

□ＭＰ3音源の準備について・音楽などをSDメモリーカードに収録する場合は以下の二つの方法があります。

1.ダイレクト録音（本機での録音）をおこなう・本機が接続された機器で再生される音声を録音する事で本機にＭＰ3形式の音源を作成します。（14～17頁録音のしかた参照）

2.パソコン等のＭＰ3形式の音源データをSDカードに転送する。

・「SDカードの準備について」で用意したSDカードに、ＭＰ3形式データを転送してください。転送するにあたって下記の点にご注意ください。

・本機はフォルダやプレイリストには対応していませんのでファイルはフォルダー等をつくらずに転送をしてください。

○ファイル名の拡張子は半角文字の「.MP3」としてください。
ファイル名の付与例 →「ABCD1234.MP3」

○MP3データは下記のフォーマットに対応しています。
サンプリング周波数：16kHz～48kHz
ビットレート：32kbps～320kbps
VBR対応（＊VBR：可変ビットレート）

○サンプリング周波数と、ビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。

○可変ビットレートのファイルに関しては、演奏時間表示が正常に表示されない場合がありますが、異常ではありません。

○詳しくはパソコン及び関連するアプリケーションなどの説明書をご覧ください。

□SDカード内のデータのバックアップについて

・SDカードに記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などにより失われることがあります。失っても困らないように、大切な録音データはパソコンにバックアップし、また記憶内容をメモして保存しておいてください。

各部の名称と説明(前面)

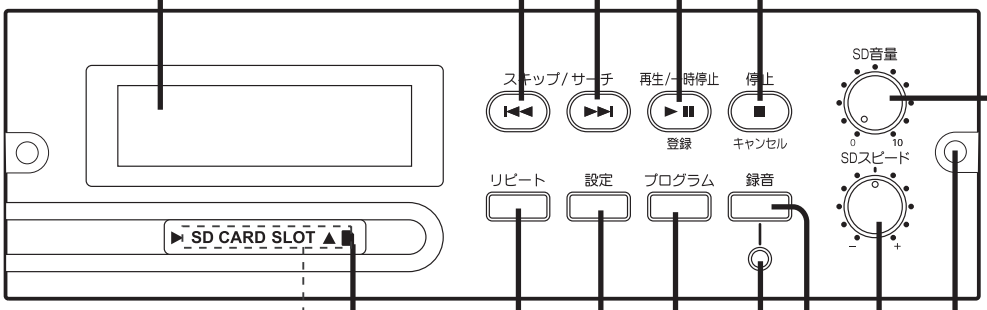
スキップ/サーチボタン(アップ)
曲(TRACK)の送り選択をするときに押します。演奏中、このボタンを押し続けると(2秒以上)曲を早送りします。

スキップ/サーチボタン(ダウン)
曲(TRACK)の戻り選択をするときに押します。演奏中、このボタンを押し続けると(2秒以上)曲を早戻しします。

ディスプレイ
操作／動作状態及びファイル名を表示します。バックライトは操作を行わず停止状態が15分間継続すると消灯します。表示項目の詳細は、操作方法の各項目を参照ください。

再生/一時停止(登録)ボタン
停止中に再生を始める時に押します。再生中に一時停止する時はこのボタンを押します。(9頁再生のしかた参照)
また状態を決定(登録)する時にもこのボタンを用います。

停止(キャンセル)ボタン
再生を停止する時に押します。(9頁再生のしかた参照)
録音待機で押すと停止状態に、録音中に押すと録音処理を終了した後停止状態になります。(16頁録音のしかた参照)また各々の操作を途中で取り止める(キャンセル)場合はこのボタンを押してください。



音量調節つまみ
再生音量を調節します。録音時には使用できません。(11頁音量調節のしかた参照)

取付穴
P25の組込方法の説明をご覧ください。

SDカード挿入口
ダストカバーをはずしSDカードを挿入してください。(27頁SDカードの挿入方法参照)

スピード調節つまみ
再生スピードを調節します。録音時には使用できません。(11頁スピード調節のしかた参照)

ダストカバー
ダストカバーをはずしSDカードを挿入してください。挿入後は必ず元どおりにダストカバーを取り付けてください。(27頁SDカードの挿入方法参照)

録音ボタン
録音を開始する時に押します。押された後は録音待機状態に移行します。(16頁録音のしかた参照)

リピートボタン
リピート再生をする時に押します。押すたびに、全曲リピート⇒1曲リピート⇒リレー再生⇒ランダム再生⇒解除と状態が切り替わります。(12頁リピート再生のしかた参照)

録音表示灯
録音待機状態で点滅、録音中に点灯します。(16頁録音のしかた参照)

設定ボタン
音声ファイルの消去、SDカードのフォーマット(初期化)、プログラム再生の曲順登録、修正及び削除の設定をおこないます。(18頁設定方法参照)

プログラム再生ボタン
プログラム再生をする時に押します。押されるとディスプレイの右下に「ＰＲＯＧ.」が表示されプログラム再生モードに移行します。(10頁プログラム再生のしかた参照)

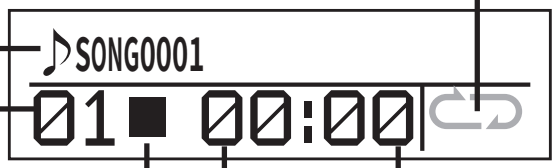
操作方法

ヒント：操作を途中で取り止める場合は停止(キャンセル)ボタンを押してください。

□通常再生のしかた

ディスプレイ部(再生時)

ファイル名表示
ファイル名称を表示します。ファイル名に曲名を記載するとその内容を表示することができます。最大で全角文字9文字(半角18文字)まで一度に表示されます。



再生モード表示
演奏モード(1回のみ／リピート)を表示。
無表示 ： 全曲1回のみ再生
↻ ： 全曲リピート再生
↻1 ： 1曲のみリピート再生
1 ： 1曲再生後停止、次曲で待機
⇄ ： ランダム再生
電源をオフにしても前回に設定された再生モードを保持します。

トラック番号表示
トラック(曲)番号を表示します。(01～512[最大])

演奏時間表示(分:秒)
演奏中の曲の経過時間のめやすを表示します。

状態表示アイコン
曲の停止／再生／一時停止を表示。

■ ： 停止　　● ： 録音
▶ ： 再生　　▶▶ ：早送り
⏸ ： 一時停止、録音一時停止　　◀◀ ：早戻し

注)本機はVBR(可変ビットレート)のMP3ファイルの再生、早送り、早戻し時に固定ビットレートとして時間表示をするため、実際の時間表示とは大幅なずれが生じることがありますが、異常ではありません。

1.電源を入れる

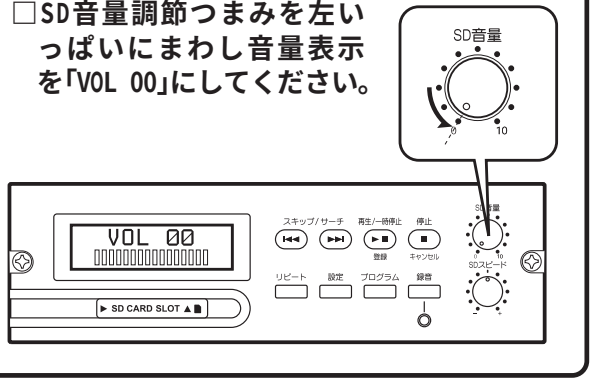
□組込機器の電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

2.SDカード挿入口にカードを入れる

□本機のSDカード挿入口にカードを入れてください。(27頁SDカードの挿入方法参照)

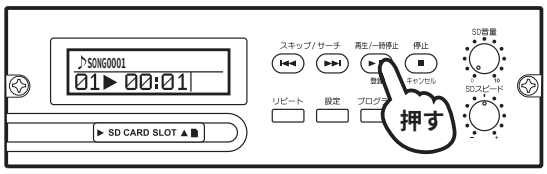
3.音量を「00」にする

□SD音量調節つまみを左いっぱいにまわし音量表示を「VOL 00」にしてください。



4.再生/一時停止ボタンを押す

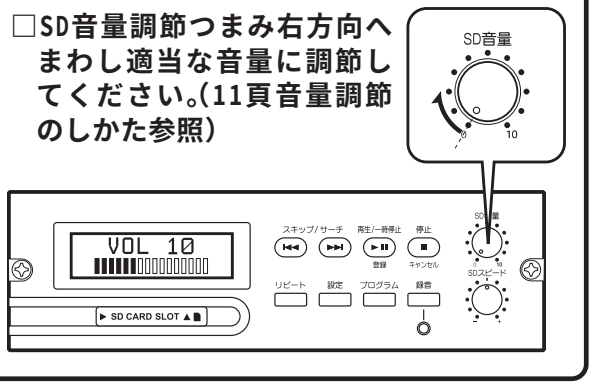
□再生/一時停止ボタンを押しますと再生が始まります。



●再生の前に
・再生モードを確認する。
・任意の曲を再生させる場合はスキップ/サーチボタンで曲を選択してください。

5.音量を調節する

□SD音量調節つまみ右方向へまわし適当な音量に調節してください。(11頁音量調節のしかた参照)



操作方法

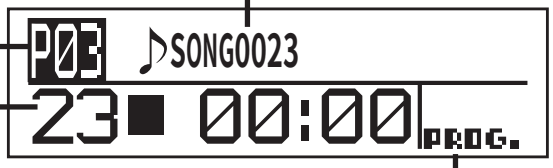
□プログラム再生のしかた

再生モード表示・演奏時間表示・状態表示アイコンについては、9頁のディスプレイ部（再生時）の説明と同じです。

ディスプレイ部（プログラム再生時）

プログラム番号表示
プログラム番号を表示します。
（01～32）

ファイル名表示
プログラム番号に対応したファイル名称を表示します。ファイル名に曲名を記載するとその内容が表示されます。
最大で全角文字7文字（半角14文字）まで一度に表示されます。



トラック番号表示
プログラム番号に対応したトラック（曲）番号を表示します。（01～512［最大］）

プログラム表示
プログラム再生モードであることを示します。

1.電源を入れる

□組込機器の電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

2.SDカード挿入口にカードを入れる

□本機のSDカード挿入口にカードを入れてください。（27頁SDカードの挿入方法参照）

プログラム登録済の場合は4.へ

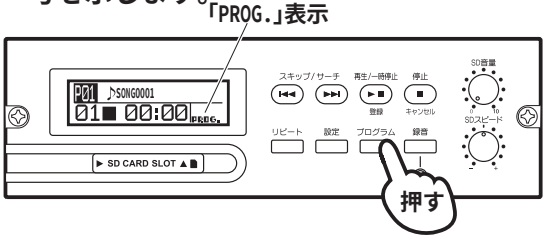
プログラム未登録の場合は3.へ

3.プログラム登録をおこなう

□プログラムの登録がおこなわれていない場合は（20頁プログラム登録）を参照して登録してください。

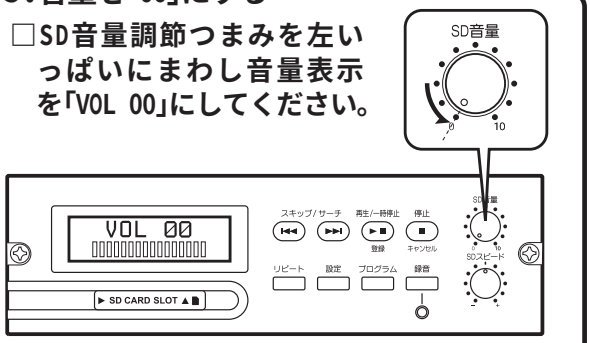
4.プログラムボタンを押す

□「ＰＲＯＧ」表示がおこなわれプログラム再生モードに移行します。移行時はプログラム番号01番のファイル名とトラック番号を示します。



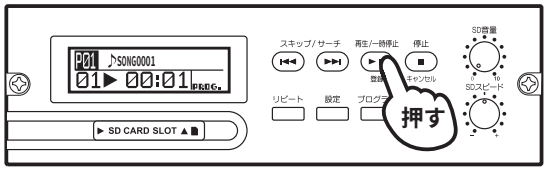
5.音量を「00」にする

□SD音量調節つまみを左いっぱいにまわし音量表示を「VOL 00」にしてください。



6.再生/一時停止ボタンを押す

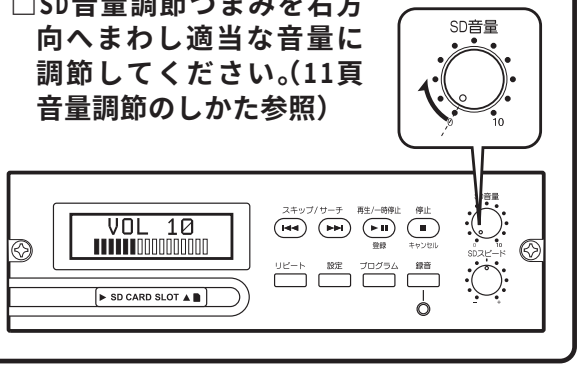
□再生/一時停止ボタンを押しますと再生が始まります。



●再生の前に
・再生モードを確認する。

7.音量を調節する

□SD音量調節つまみを右方向へまわし適当な音量に調節してください。（11頁音量調節のしかた参照）

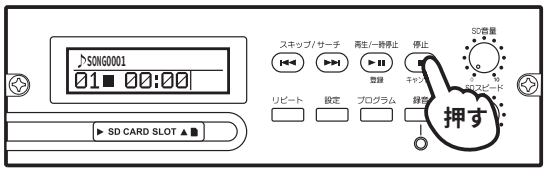


□再生の停止、一時停止のしかた

演奏を停止するには

停止ボタンを押す

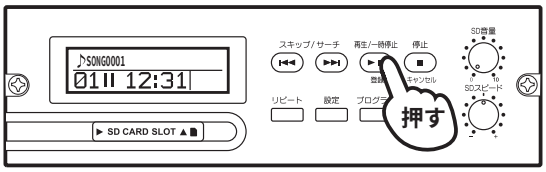
□演奏中に停止ボタンを押しますと、その曲（トラック）の頭に移動し、停止します。
□再度押しますと一番前のトラック位置で停止状態に変わります。



演奏を一時停止（ポーズ）するには

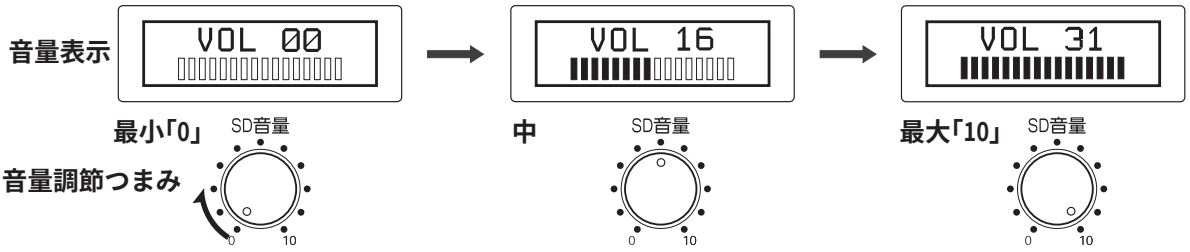
再生/一時停止ボタンを押す

□演奏中に再生/一時停止ボタンを押しますと演奏が止まります。再度押しますと停止位置からの再生が始まります。



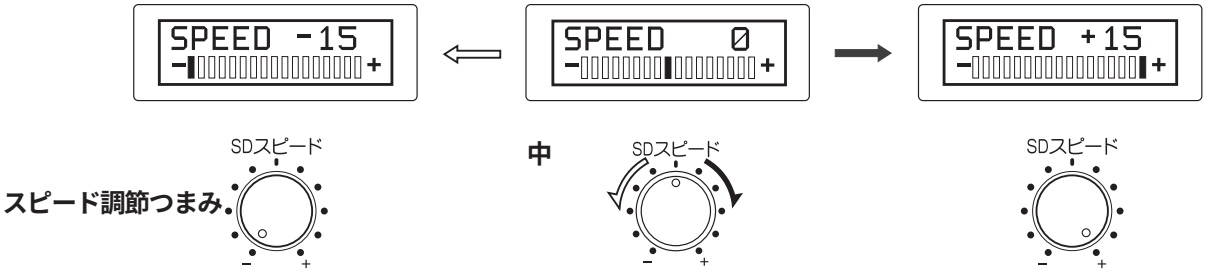
□音量調節のしかた

□音量を上げるときは音量調節つまみを右方向に、音量を下げるときは左方向にまわしてください。停止時及び演奏中に調節できます。
□音量は0～31の数値と16段階のバーメーターで表示します。



□スピード調節のしかた

□再生スピードを遅くするときは左方向に、早くするときは右方向にまわしてください。停止時及び演奏中に調節できます。
□再生スピードは－15～＋15の数値と17段階のバーメーターで表示します。
□スピード調節と同時に音程も変化します。

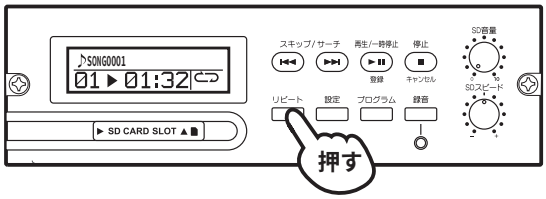


操作方法

□再生モードの設定

□リピートボタンを押すことを繰返しますと無表示→ ↻ →↻1→ 1→⇄→の順に変わります。下表を参考にしてリピートモードを設定してください。

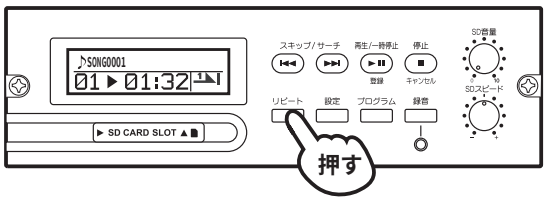
リピート再生のしかた



リピートボタンを押す

↻	全曲リピート(全曲を繰り返し再生します。)
↻1	1曲リピート (今演奏している曲を繰り返し再生します。)

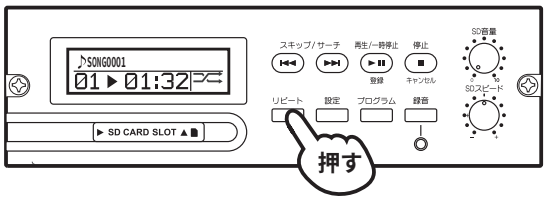
リレー再生のしかた



リピートボタンを押す

1→	リレー再生 (一曲再生ごとに停止し、次の曲で待機します。)

ランダム再生のしかた



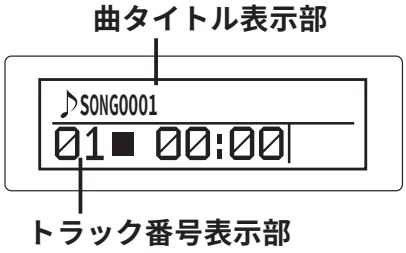
リピートボタンを押す

⇄	ランダム再生 (曲順をランダムに再生します。)

□再生時のご注意

SDカードの再生順について

■本機で使用するSDカードはカードへ転送、及び録音した順番でトラック番号が付けられます。曲ファイルはそのトラック番号の順番で再生されます。



■ご注意
トラック番号は曲タイトル表示部の「SONG - - - -」の番号と同じではありません。

SDカードの再生時間について

■本機はVBR(可変ビットレート)のMP3ファイルの再生、早送り、早戻し時に固定ビットレートとして時間表示をするため、実際の時間表示とは大幅なずれが生じることがありますが、異常ではありません。

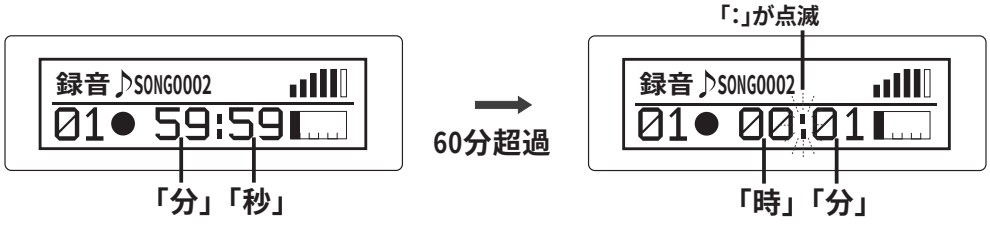
電源起動後の状態について

■本機はリピートや再生モード(リレー再生、プログラム再生)の状態は電源オフ後も前回の設定を記憶しています。

「再生モード」は前回電源オフ時の設定

録音時間の表示について

■演奏時間表示部に録音時間が表示されます。ただし60分を超過しますと表示単位は「時:分」に切り換わり「:」部分が点滅します。



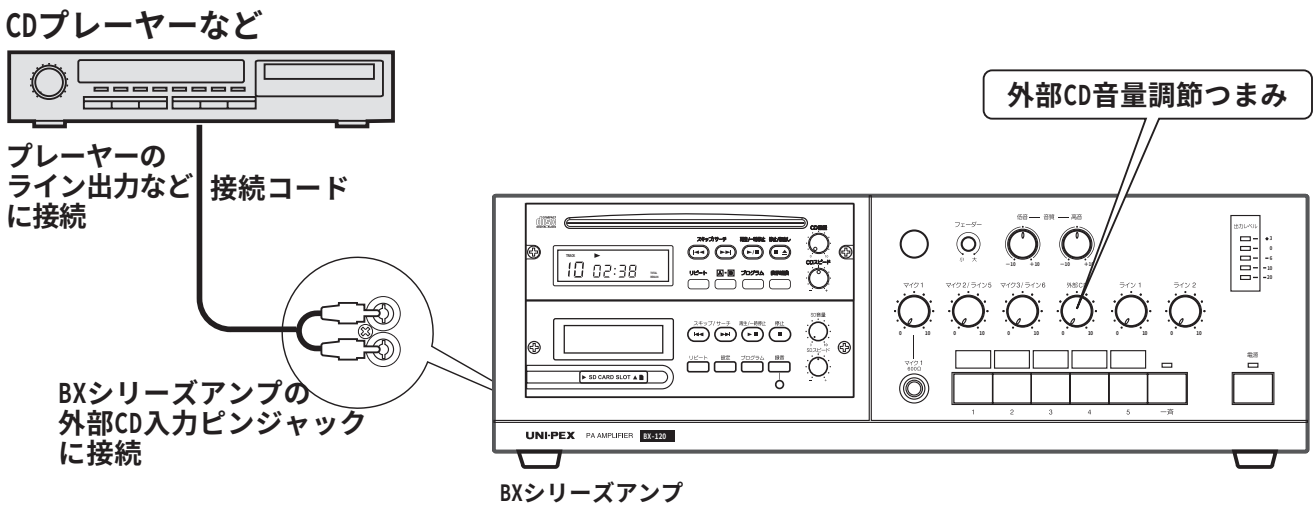
操作方法

□録音について

例1）外部のプレーヤーの音楽を録音する場合

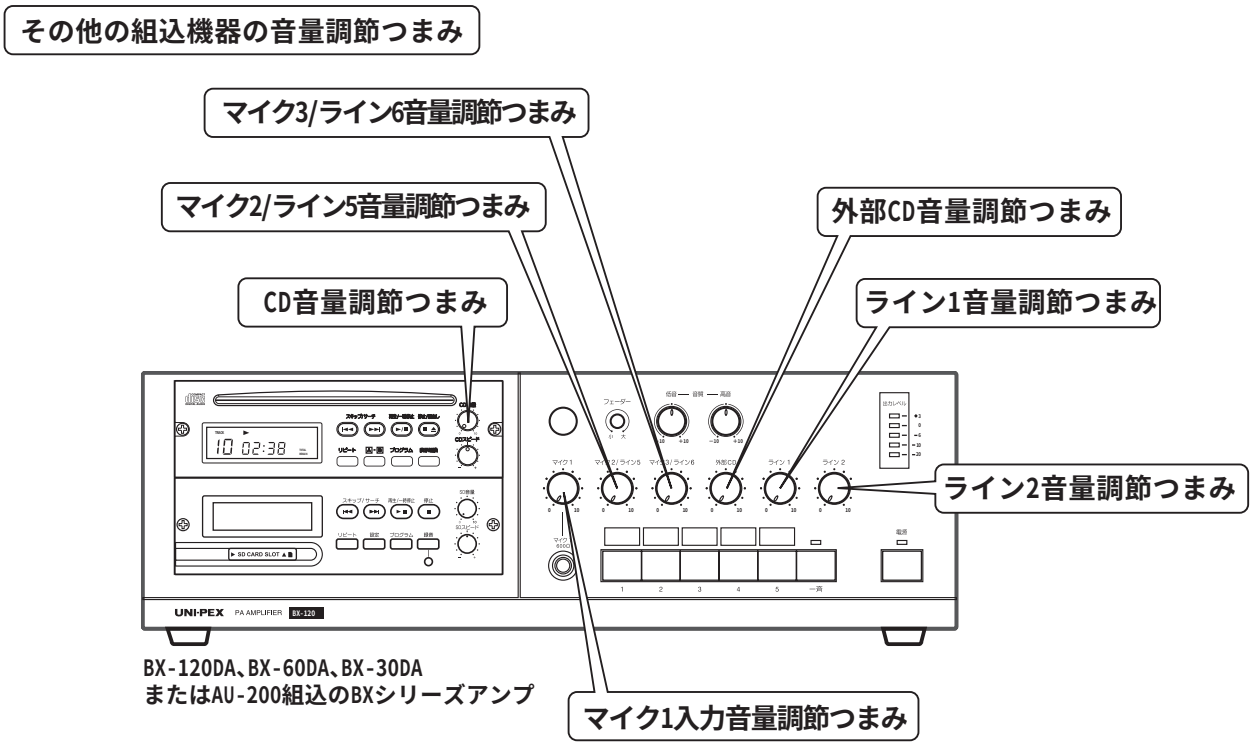
・市販の接続コードを使用し、外部のプレーヤーの出力をBXシリーズアンプの外部CD入力ピンジャックに接続してください。(下図参照)

・BXシリーズアンプの内蔵機器とミキシング録音も可能です。録音レベルはBXシリーズアンプの外部CD音量調節つまみで調節してください。



例2）組込機器のプレーヤーやマイクを使用し録音する場合

・BXシリーズアンプに内蔵の機器をそれぞれミキシング録音することができます。それぞれの録音レベルは各音量調節つまみで調節してください。



ディスプレイ部(録音時)

ファイル名表示
これから録音する曲の
タイトルが表示されます。

録音レベル表示
録音レベルを表示します。3～5が適正レベルです。

6(最大)	2
5	1
4	0(最小)
3	

トラック番号表示
これから録音する曲のトラック番号が表示されます。

状態表示アイコン
録音の一時停止／録音中／停止を表示。
- ▮▮ ：録音一時停止
- ● ：録音
- ■ ：停止

録音時間表示(分:秒)
録音中の曲の録音時間のめやすを表示します。ただし60分を超過しますと表示単位は「時:分」に切り換わり「:」部分が点滅します。

メモリー使用量表示
メモリー使用量が表示されます。録音する前に充分なメモリー残量があるかを確認してください。

6(最大)	2
5	1
4	0(最小)
3	

録音時のご注意

□SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチがロック側になっていますと録音操作は「ライトプロテクト」表示後、元の表示に戻りキャンセルされます。SDカードを取り出しロックを解除してください。(27頁の「誤消去防止スイッチについて」の説明をご覧ください。)

□録音レベルは録音レベル表示が3と4を常時示す程度に設定してください。極端に録音レベルが高く、または低くないようにご注意ください。テスト録音をして適正な録音レベルを設定し録音されることをおすすめします。

□録音レベルが低い場合、デジタル特有のノイズが録音される場合があります。

□録音中、及びその操作の途中にSDカードを取り出したり、電源を切らないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。SDカードの取り出しは必ず停止中(■)におこなってください。

□「保存中」表示中に電源を切ったり、SDカードを取り出さないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

□録音中は録音する音声が放送されますのでご注意ください。(放送中に内容を録音する場合は除く)

操作方法

□録音のしかた

1.電源を入れる

□組込機器の電源スイッチを押して電源を入れ､電源表示灯が点灯していることを確認してください。

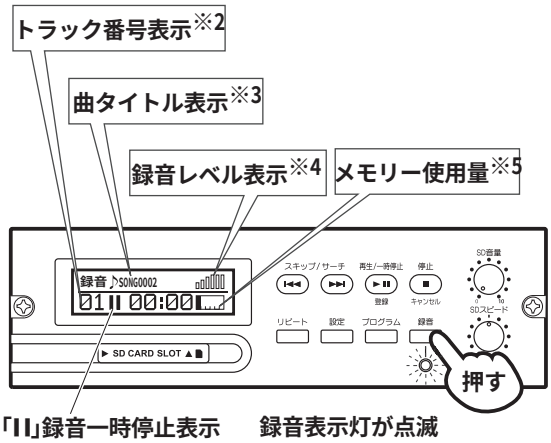
2.SDカード挿入口にカードを入れる

□本機のSDカード挿入口にカードを入れてください。(27頁の｢SDカードの挿入方法｣をご覧ください。)

3.録音ボタンを押す

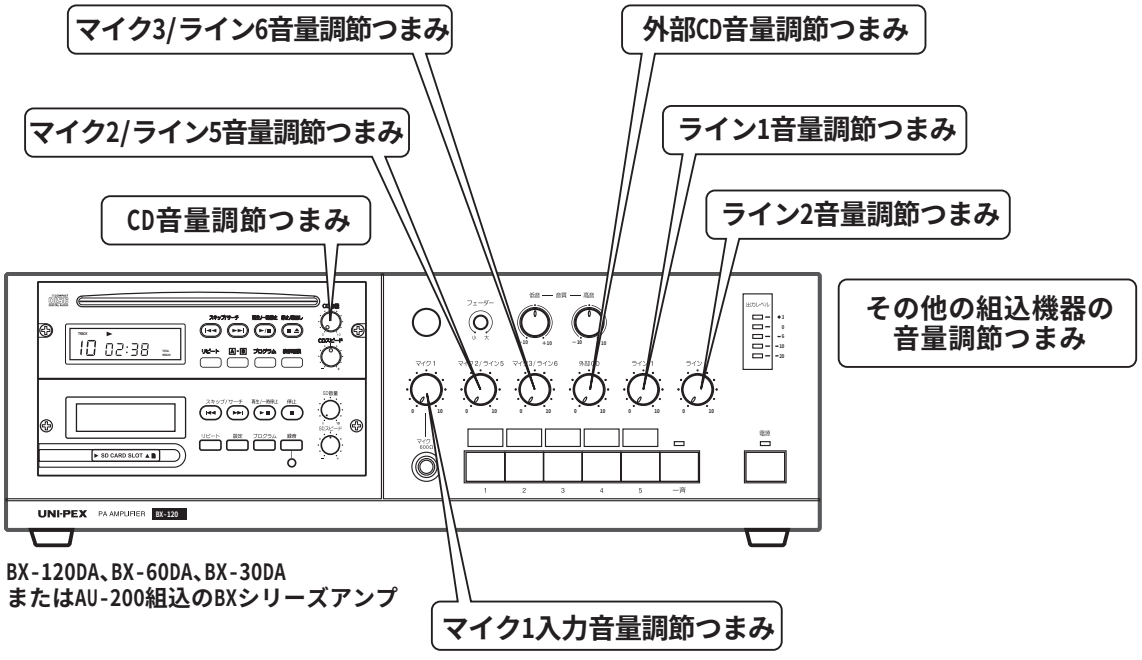
□録音ボタンを押すと録音待機状態になり録音表示灯が点滅します。

※2 これから録音する曲のトラック番号が表示されます。
※3 これから録音する曲のタイトルが表示されます。
※4 録音レベルが表示されます。
※5 メモリー使用量が表示されます。



4.録音する機器の音量を調節する

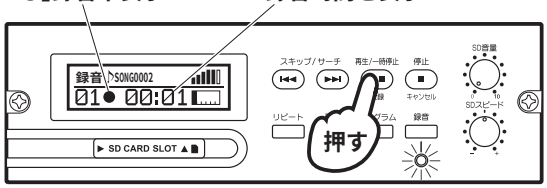
□録音する機器の音量を適切なレベルになるように録音レベルメーターを目安にして調節してください。



5.再生/一時停止ボタンを押す(録音開始)

□録音するプレーヤーの再生をスタートさせ、同時に本機の再生/一時停止ボタンを押し録音を開始してください。

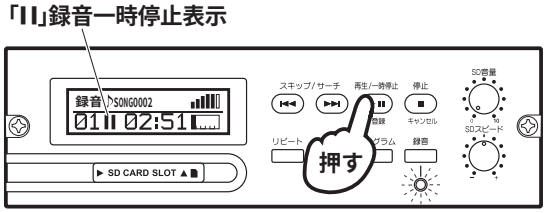
プレーヤーの再生をスタートさせる



録音表示灯が点灯

録音を一時停止するには

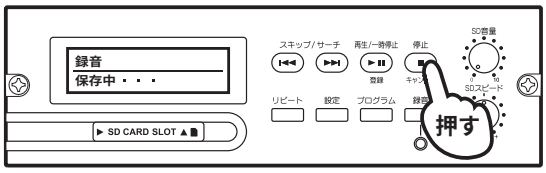
□録音中に再生/一時停止ボタンを押すと録音待機状態になります。再び再生/一時停止ボタンを押すと録音が開始し、同じトラックファイルに録音を続けることができます。



録音表示灯が点滅

6.停止ボタンを押す(録音停止)

□停止ボタンを押すと**「録音/保存中」**表示後、録音が終了します。



プレーヤーの再生を停止させる

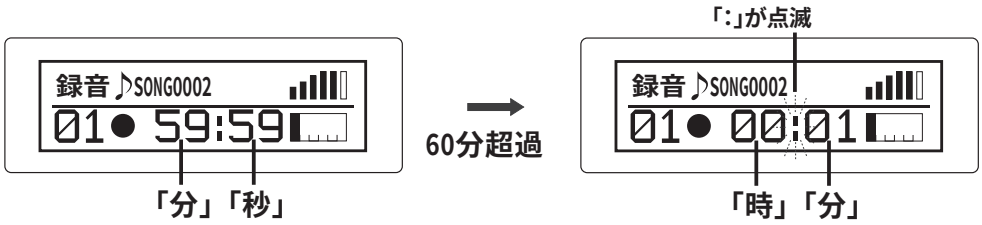
□録音一時停止状態でも停止ボタンを押すと録音中と同様に**「録音/保存中」**表示後、録音が終了します。

◇本機で録音されたSDカードを本機以外で使用されますと、著しい音量差などで使用に差し支える場合があります。使用に際しては音量の調節に充分ご注意ください。

録音時のご注意

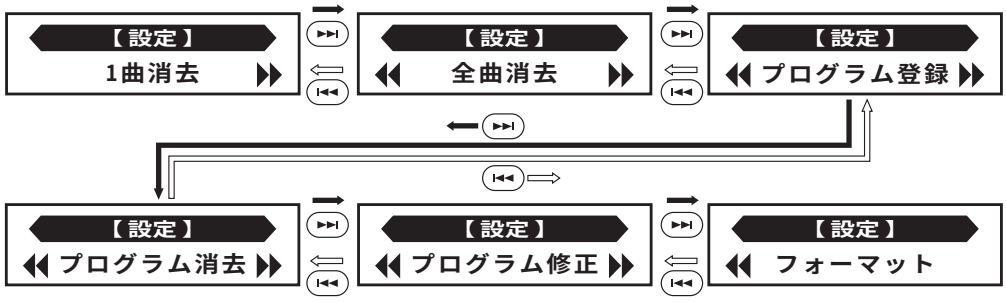
録音時間の表示について

■演奏時間表示部に録音時間が表示されます。ただし60分を超過しますと表示単位は「時:分」に切り換わり「:」部分が点滅します。



設定方法

□設定モードは設定ボタンを押した後、スキップ/サーチボタ▶▶I　　)を押すと設定モードが「フォーマット」まで順番に切り換わり止まります。戻すときはスキップ/サーチボタン(　　)を押してください。(下図参照)



誤消去防止スイッチについて

□SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチがロック側になっていますと設定操作は「ライトプロテクト」表示後、元の表示に戻りキャンセルされます。SDカードを取り出しロックを解除してください。
(27頁誤消去防止スイッチについて参照)

「設定/ライトプロテクト」表示

設定
ライトプロテクト

□消去のしかた

ヒント：消去の操作を途中で取り止める場合は停止ボタンを押してください。(または「いいえ」選択時に再生/一時停止　　ボタンを押しても可)

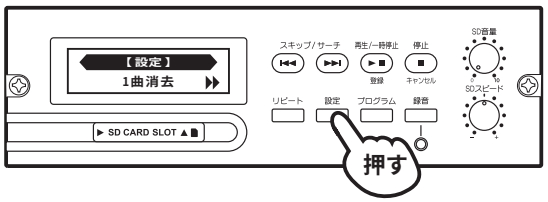
注)消去中、及びその操作の途中にSDカードを取り出したり、電源を切らないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。SDカードの取り出しは必ず停止中(■)におこなってください。

一曲消去

□録音された曲の中から曲を選んで一曲づつ消去する場合は次の要領でおこなってください。複数の曲を消去する場合は一曲消去を繰返してください。

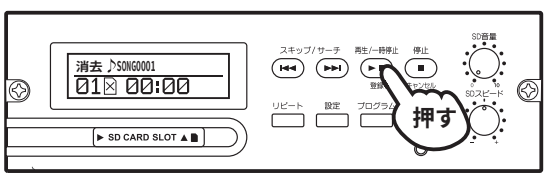
1.設定ボタンを押す

□設定ボタンを押すと「一曲消去」に表示が換わります。



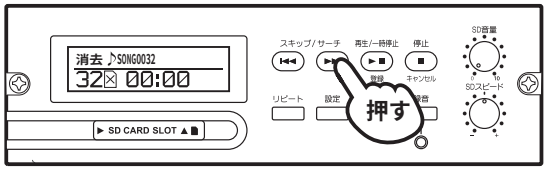
2.再生/一時停止ボタンを押す

□再生/一時停止ボタンを押すと「消去-曲選択」表示に換わります。



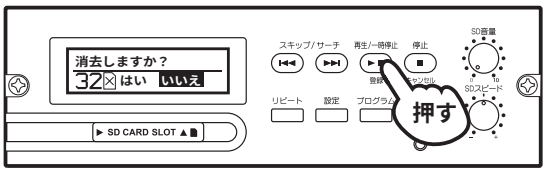
3.スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタンを押して消去するファイルを選択してください。



4.再生/一時停止ボタンを押す

□再生/一時停止ボタンを押すと「いいえ」に表示が換わります。

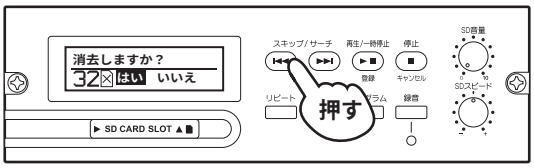


・「いいえ」表示中に再生/一時停止ボタンを押すと操作は中断します。

ヒント：操作を途中で取り止める場合は停止(キャンセル)ボタンを押してください。

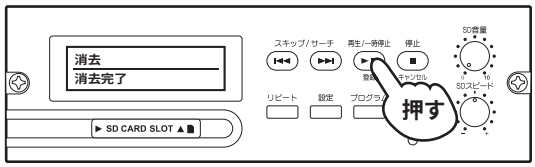
5.スキップ/サーチボタン(I◀◀)を押す

□スキップ/サーチボタン(I◀◀)を押すと「はい」に表示が換わります。



6.再生/一時停止ボタンを押す

□再生/一時停止ボタンを押すと「消去完了」に表示が換わり消去が完了します。



注)プログラム登録をされている曲の消去について

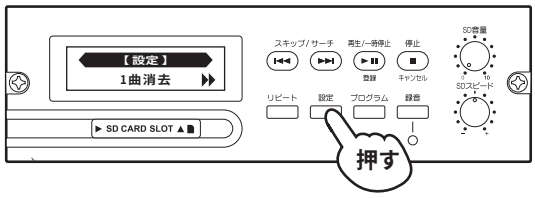
プログラム登録をされている曲と同じ曲をSDカード内から消去しますと、プログラム登録からもその曲は消去されてしまいます。
新しくプログラム登録をされる場合は「 20頁プログラム登録のしかた」にておこなってください。

全曲消去

□録音された曲を全曲消去する場合は次の要領でおこなってください。

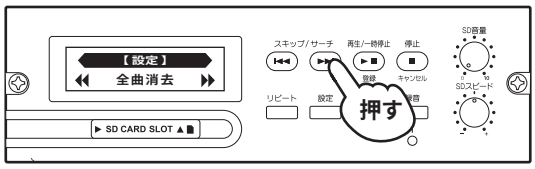
1.設定ボタンを押す

□設定ボタンを押すと「一曲消去」に表示が換わります。



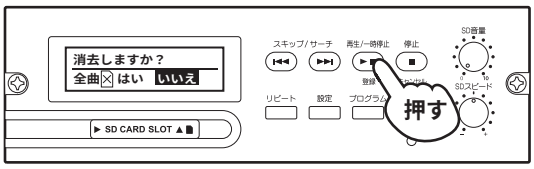
2.スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタン(▶▶I)を1回押して「 全曲消去」の表示に切り換えてください。



3.再生/一時停止ボタンを押す

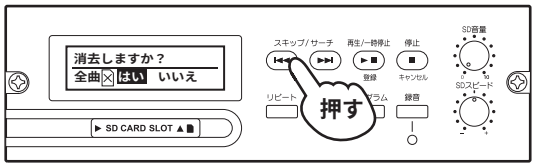
□再生/一時停止ボタンを押すと「全曲消去確認-いいえ」に表示が換わります。



・「全曲消去確認-いいえ」表示中に再生/一時停止ボタンを押すと操作は中断します。

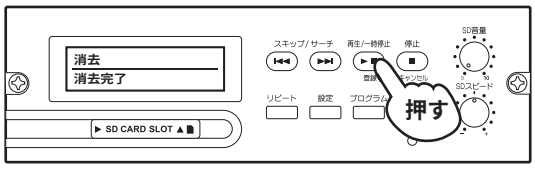
4.スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタンを押すと「全曲消去確認-はい」に表示が換わります。



5.再生/一時停止ボタンを押す

□再生/一時停止ボタンを押すと「消去完了」に表示が換わり消去が完了します。

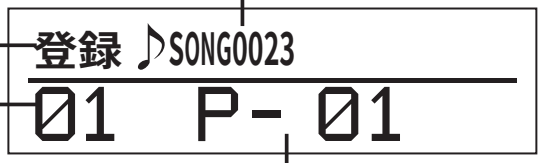


設定方法

□プログラムの編集

□SDカードに録音された曲を最大32曲までお好みの順番で登録し、再生することができます。プログラムの登録、消去、修正をする場合は次の要領でおこなってください。

プログラム登録表示



ファイル名表示
ファイル名称を表示します。登録するファイル名をスキップサーチボタンで選択してください。

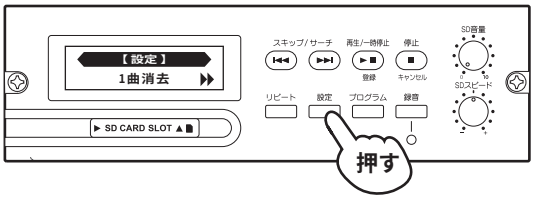
トラック番号表示
トラック(曲)番号を表示します。

プログラム番号表示
プログラム番号表示します。プログラム再生はプログラム番号順で演奏します。
(P-01～P-32)

プログラム登録のしかた

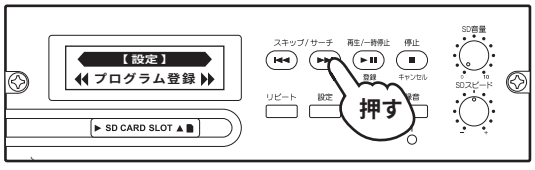
1.設定ボタンを押す

□設定ボタンを押すと「一曲消去」に表示が換わります。



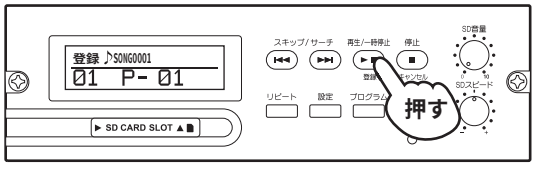
2.スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタン(►►I)を2回押して「 プログラム登録」の表示に切り換えてください。



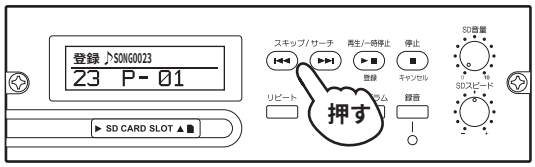
3.再生/一時停止(登録)ボタンを押す

□再再生/一時停止(登録)ボタンを押すと「登録するプログラム番号」の表示に換わります。



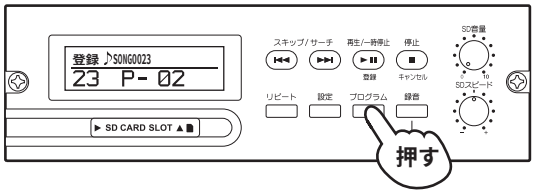
4.スキップ/サーチボタンを押す(登録曲の選択)

□スキップ/サーチボタンを押して登録するファイル名を選択してください。



5.プログラムボタンを押す

□プログラムボタンを押すとプログラム番号にそのファイルが仮登録されます。プログラム番号は点滅した後、次の番号に替わります。



□続いて仮登録をおこなうには、「4」「5」の操作を繰返してください。プログラムの最大数は32曲です。最大数をこえた登録を行おうとするとプログラム番号に「ＯＶＥＲ」の表示がされます。
□全ての仮登録が完了しましたら次頁「6」の操作へ進んで登録を決定してください。
□このモードで既に登録したプログラムの修正をおこなうことはできません。修正する場合は「 22頁プログラムの修正のしかた」にておこなってください。

ヒント：操作を途中で取り止める場合は停止(キャンセル)ボタンを押してください。

6.再生/一時停止(登録)ボタンを押す

□全ての仮登録が完了後、再生/一時停止(登録)ボタンを押して登録を決定してください。

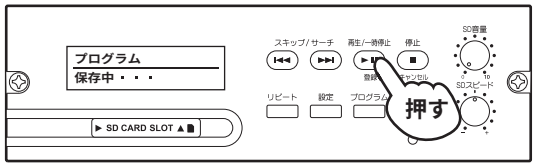
以前にプログラム登録をしていない場合(新規)

- 再生/一時停止(登録)ボタンを押してください。これで登録が決定します。
- また、決定前に停止(キャンセル)ボタンを押しますと中断が可能です。

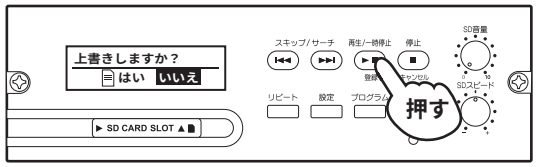
以前にプログラム登録をしている場合(上書き)

- 再生/一時停止(登録)ボタンを押してください。上書き確認が表示されます。
- 上書きしてよい場合はスキップサーチボタンで「はい」を選択し、再生/一時停止(登録)ボタンを押し決定してください。
- 上書きしないで中断する場合は「いいえ」を選択し、再生/一時停止(登録)ボタンを押ししてください。
- また、決定前に停止(キャンセル)ボタンを押すことでも中断が可能です。

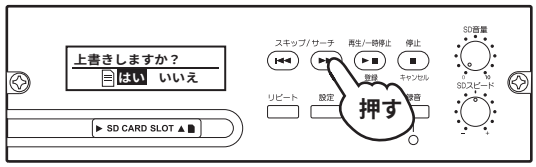
再生/一時停止(登録)ボタンを押す(完了)



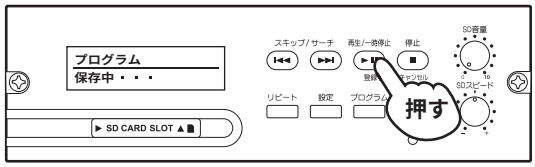
① 再生/一時停止(登録)ボタンを押す



② スキップ/サーチボタンを押す



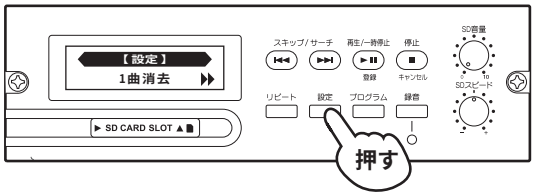
③ 再生/一時停止(登録)ボタンを押す(完了)



プログラムの消去のしかた

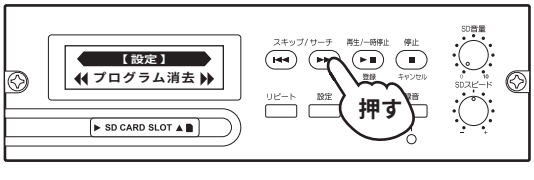
1.設定ボタンを押す

□設定ボタンを押すと「一曲消去」に表示が換わります。



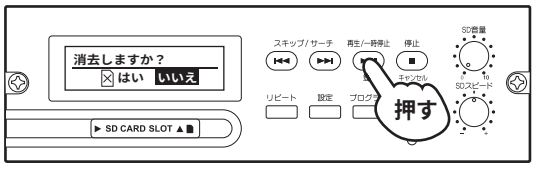
2.スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタン(►►I)を3回押して「プログラム消去」の表示に切り換えてください。



3.再生/一時停止(登録)ボタンを押す

□再生/一時停止(登録)ボタンを押すと、プログラム消去の確認が表示されます。

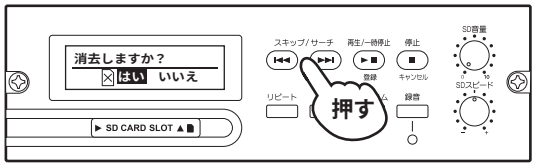


- 消去しない場合は「いいえ」選択時に再生/一時停止ボタンを押し操作を中断してください。また、消去完了前の操作の途中に停止ボタンを押すことでも中断が可能です。

設定方法

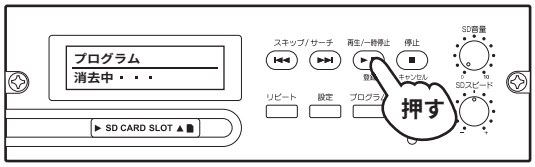
4.スキップ/サーチボタンを押す

□スキップサーチボタンを押して「はい」を選択してください。



5.再生/一時停止(登録)ボタンを押す

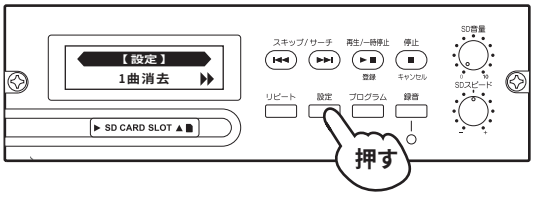
□再生/一時停止(登録)ボタンを押すと「消去中」に表示が換わり消去が完了します。



プログラムの修正のしかた

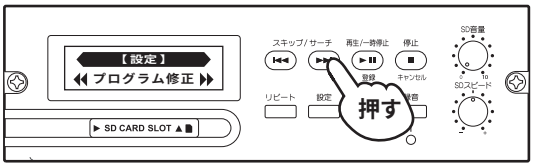
1.設定ボタンを押す

□設定ボタンを押すと「一曲消去」に表示が換わります。



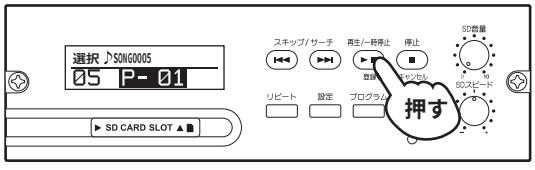
2.スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタン(►►I)を4回押して「 プログラム修正」の表示に切り換えてください。



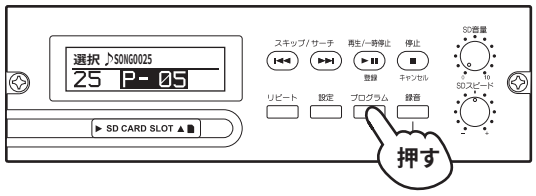
3.再生/一時停止(登録)ボタンを押す

□再生/一時停止(登録)ボタンを押すと「修正するプログラム番号」の表示に換わります。



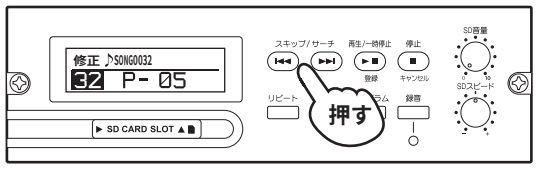
4.プログラムボタンを押す

□プログラムボタンを押して修正したいプログラム番号を選択してください。
□プログラムボタンを押すたびにプログラム番号が変わり、登録されているプログラムの内容が表示されます。



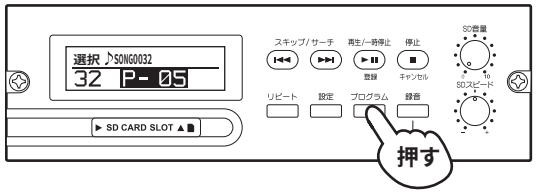
5.スキップ/サーチボタンを押す(修正曲の選択)

□スキップ/サーチボタンを押して新規に修正登録するファイル名を選択してください。



6.プログラムボタンを押す

□プログラムボタンを押して表示中の修正登録するファイル名を仮登録してください。

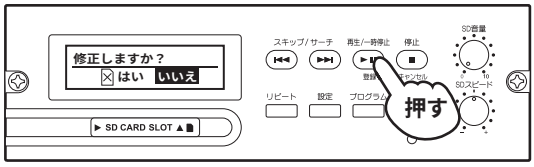


ヒント：操作を途中で取り止める場合は停止(キャンセル)ボタンを押してください。

□続いて仮登録をおこなうには「4」～「6」の操作を繰返してください。
・登録されているプログラム番号の曲目は変更できますが、指定したプログラム番号の消去や、新たなプログラム番号の追加はできません。再度登録しなおしてください。

7.再生/一時停止(登録)ボタンを押す

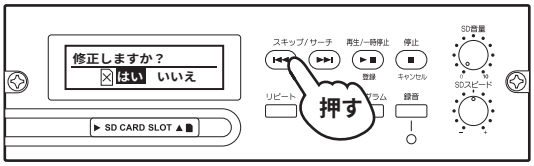
□再生/一時停止(登録)ボタンを押すと「いいえ」に表示が換わります。



・修正しない場合は「いいえ」選択時に再生/一時停止ボタンを押し操作を中断してください。また、修正完了前の操作の途中に停止ボタンを押すことでも中断が可能です。

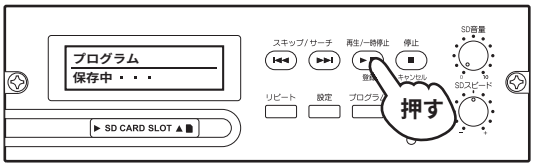
8.スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタンを押すと「修正確認-はい」に表示が換わります。



9.再生/一時停止(登録)ボタンを押す

□再生/一時停止(登録)ボタンを押すと「保存中」に表示が換わり修正が完了します。



ご注意

□プログラムはSDカード内に保存されます。パソコンなどでSDカードの内容を見ますと「SDU200.txt」と言うファイル名で表示されます。そのファイルを削除しますとプログラムが消去されてしまいますのでご注意ください。

□複数のプログラムを登録される場合はプログラム登録毎にSDカードをそれぞれご用意ください。

設定方法

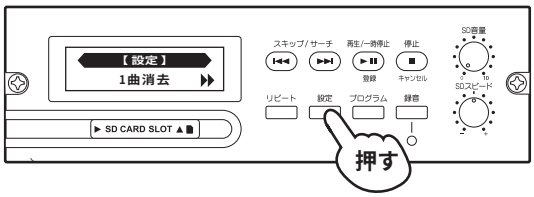
ヒント：操作を途中で取り止める場合は停止(キャンセル)ボタンを押してください。

□フォーマット(初期化)のしかた

注)フォーマット、及びその操作の途中にSDカードを取り出したり、電源を切らないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。SDカードの取り出しは必ず停止中(■)におこなってください。

1.設定ボタンを押す

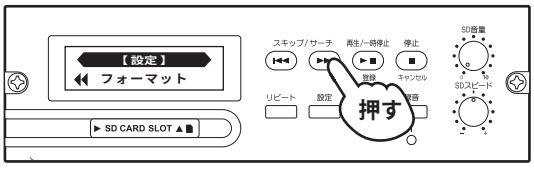
□設定ボタンを押すと「一曲消去」に表示が換わります。



◇SDカードにデータが入っていないときに設定ボタンを押すと設定メニューの「フォーマット」表示に変わります。それ以降は「3」→「4」→「5」の操作でフォーマットをおこなってください。

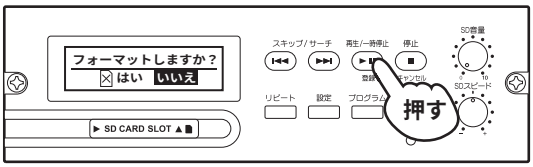
2.スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタン(►►I)を5回押して「フォーマット」の表示に切り換えてください。



3.再生/一時停止(登録)ボタンを押す

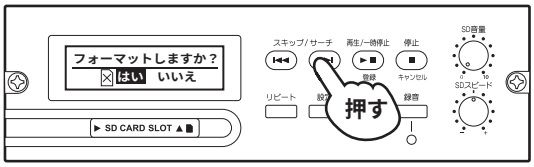
□再生/一時停止(登録)ボタンを押すと「いいえ」に表示が換わります。



・フォーマットをしない場合は「いいえ」選択時に再生/一時停止ボタンを押し操作を中断してください。また、フォーマット完了前の操作の途中に停止ボタンを押すことでも中断が可能です。

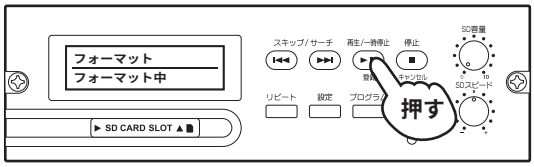
4.スキップ/サーチボタンを押す

□スキップ/サーチボタンを押すと「はい」に表示が換わります。

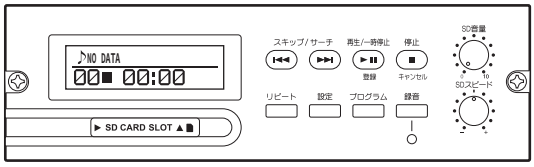


5.再生/一時停止(登録)ボタンを押す

□再生/一時停止(登録)ボタンを押すと「フォーマット中」から「NO DATA」に表示が換わり、フォーマットが完了します。

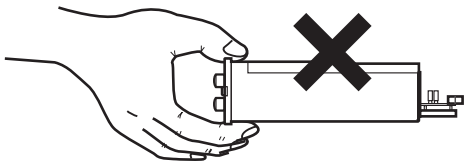


⇩ フォーマット完了



組込方法

⚠警告 取付作業をおこなう場合は必ず､組込機器の電源を切るか､電源プラグをコンセントから抜いてください。



⚠注意

SDレコーダーユニットを持つときは、前面パネル部に触れない。前面パネル部がはずれ、故障の原因になることがあります。

1.本機を組み込む機器の前面のユニット挿入口ブランクパネルを2本の取付ねじをはずし取り除いてください。

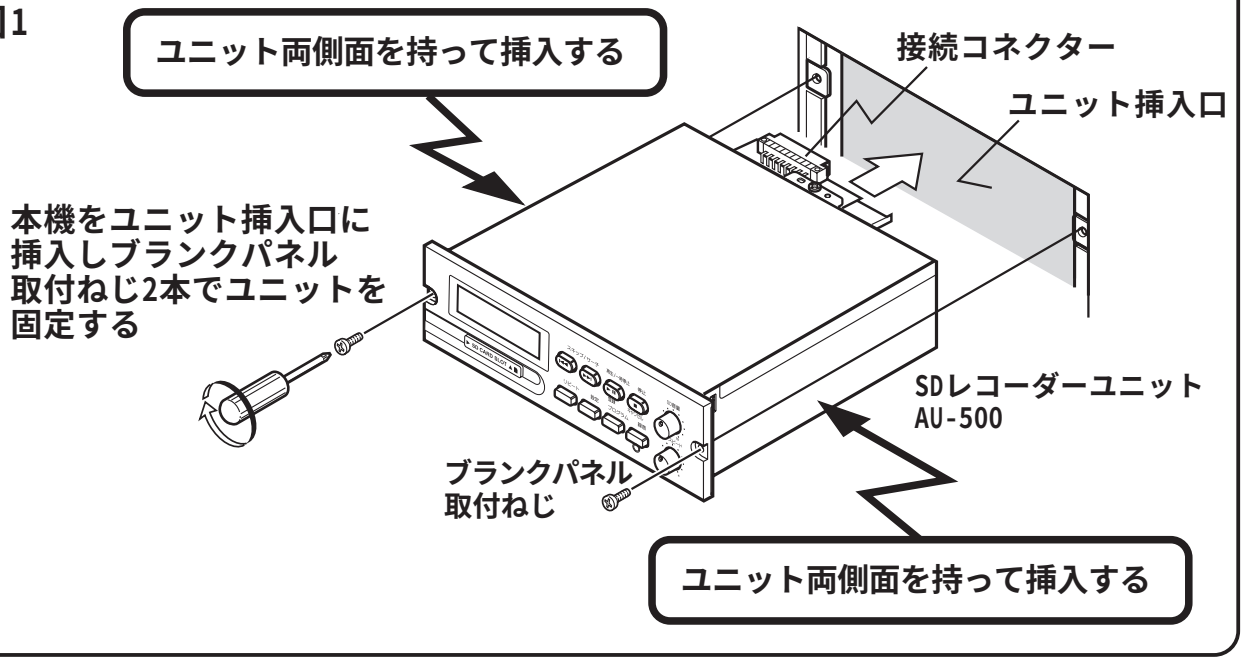
2.本機を組込機器前面のユニット挿入口に挿入し､軽く押し込んで本機の接続コネクターを挿入口内部のコネクターに接続してください。

3.本機をブランクパネルを取り付けてあった2本のねじで固定してください。(図1参照)

ご注意 ●本機をねじで固定する前に､必ず本機後面のコネクターが組込機器側のコネクターに確実に接続されているか確認してください｡確認事項は以下のとおりです。

・本機前面パネルと組込機器の挿入部周辺が同一面に揃っていますか。

図1



自動電源制御機能について

●本機には電源の「入／切」を外部から制御できる自動電源制御機能があります｡組込機器にFM/AMラジオチューナーユニット　AU-100が一緒に収納されている場合は　AU-100の電源が入れば本機の電源は自動的に切れます｡本機を使用される場合は　AU-100の音量調節つまみ(電源スイッチ兼用)を必ず「切」位置にしてください。

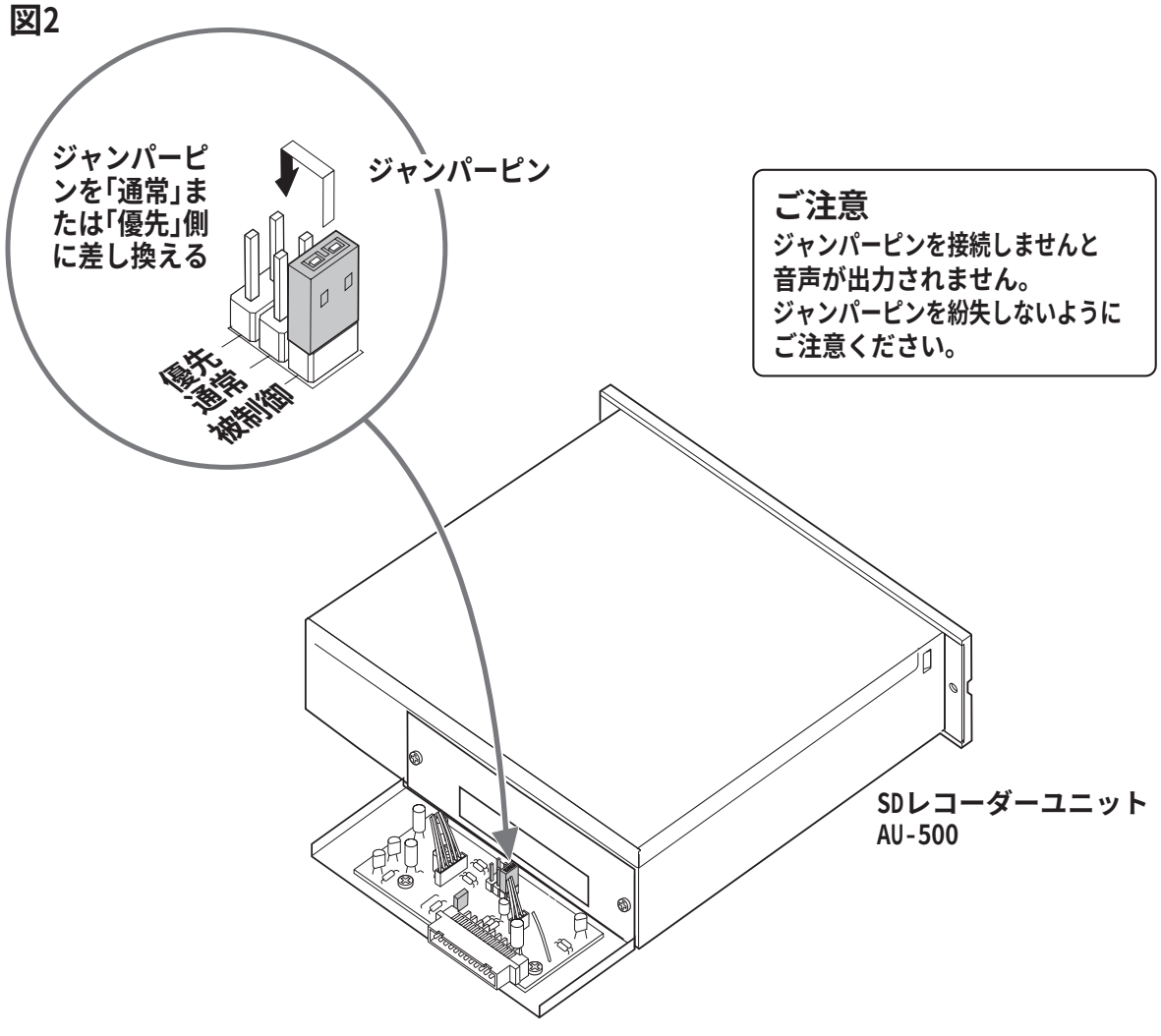
優先制御と通電切換の変更のしかた

「被制御」を 「通常」または 「優先」に変更する場合

●本機は組込機器本体のオートマチックフェーダー回路のはたらきで自動的に音量が減衰する「被制御」に設定されています。自動的に音量が減衰しない「通常」で使用される場合は本機後部の基板上のジャンパーピンを「通常」側に差し換えてください。または本機の動作により被制御に設定された機器の音量を自動的に減衰させる「優先」で使用される場合は「優先」側に差し換えてください。(図2参照)

●工場出荷時にジャンパーピンは「被制御」に設定しています。

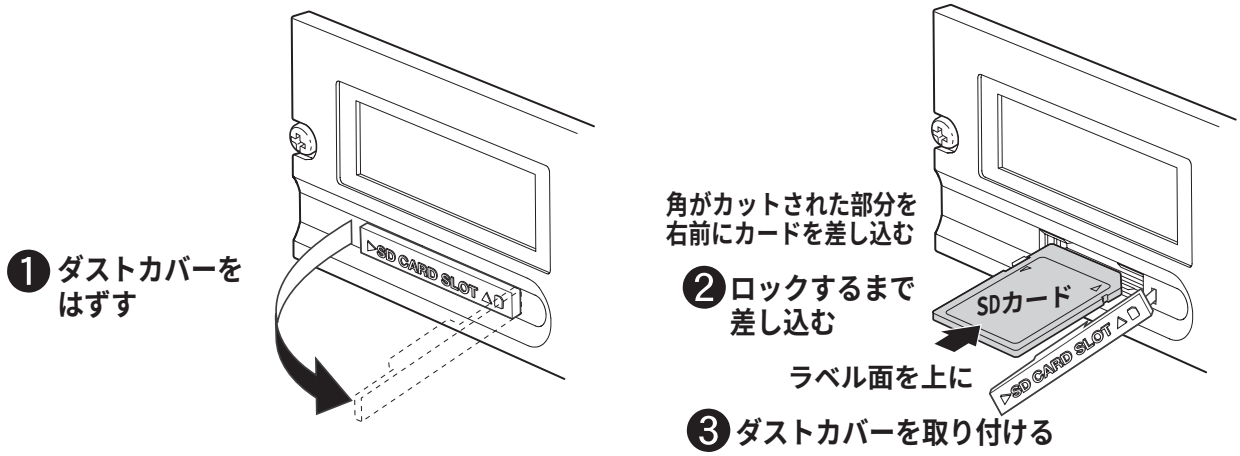
図2



SDカードの挿入方法

入れかた

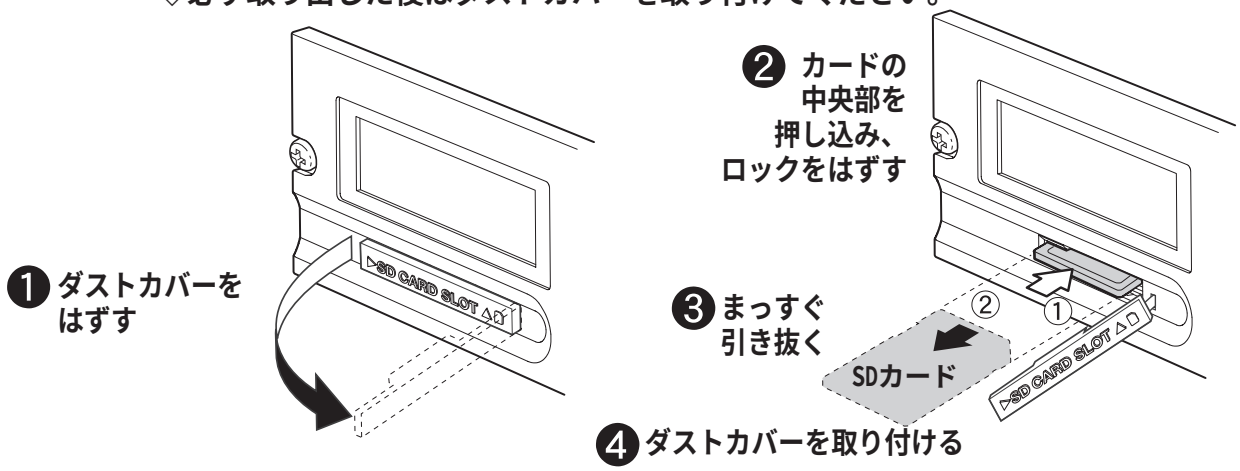
◇すでにSDカードが入っているときは、カードは入れられませんので、無理に入れないでください。必ず挿入口にカードが入っていないことを確認してからカードを挿入してください。必ず挿入後はダストカバーを取り付けてください。



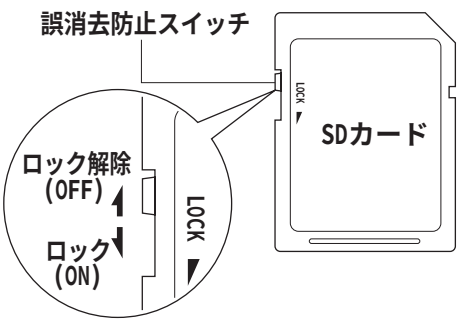
取り出しかた

■ご注意 動作中、操作の途中及び待機(一時停止)時などにSDカードを取り出したり、電源を切らないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。
SDカードの取り出しは必ず停止中(■)におこなってください。

◇必ず取り出した後はダストカバーを取り付けてください。



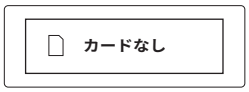
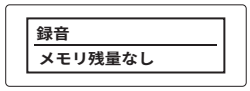
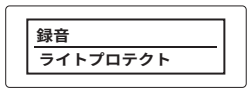
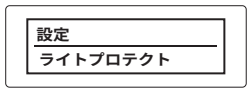
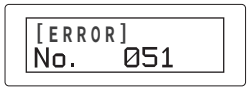
誤消去防止スイッチについて



◇SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチをロック側にしますと、録音、消去などカードの内容を変更することができません。再生時に誤操作によるデータの消失を未然に防ぐため、このスイッチをロック側にされることをお勧めします。

◇録音、消去、プログラム操作をするときは誤消去防止スイッチのロックを解除してください。ロック側になっていますと操作を開始しても「ライトプロテクト」表示後、元の表示に戻り操作はキャンセルされます。

エラーメッセージの説明

	「カードなし」 内容…SDカードの未挿入 SDカードが挿入されていません。カードを挿入してください。
	「ERROR/FAT32」 内容…SDカードのフォーマット形式がFAT32 SDカードのフォーマット形式が合っていません。このエラー表示中にどの操作ボタンを押してもフォーマット確認の表示に変わります。カードのデータが消滅しても問題のない場合はそのままフォーマットの操作を続けてください。
	「録音/メモリ残量なし」 内容…SDカードのメモリー残量僅少 SDカードのメモリー残量が僅少、またはデータ数が規定数※6を超過しているため録音ができない状態です。不要なデータを消去するか、他のカードと交換して録音してください。(※6 最大512　カード容量、データの総容量などにより512より少なくなる事があります。)
	「録音/ライトプロテクト」 内容…SDカードがロック状態 SDカードの誤消去防止スイッチがロック状態になっているため録音できません。ロック状態を解除してから録音してください。
	「設定/ライトプロテクト」 内容…SDカードがロック状態 SDカードの誤消去防止スイッチがロック状態になっているため消去できません。ロック状態を解除してから消去してください。
	「NO DATA」 内容…SDカードにMP3データなし SDカードにデータが入っていません。録音、またはデータの転送をするか、他のカードと交換してください。
	「ERROR/No.50」 内容…SDカードの異常 「ERROR/No.51」 内容…SDカードの異常 これらのエラーNo.が表示している場合はどの操作ボタンを押してもフォーマット確認の表示に変わります。このときは取付機器本体の電源スイッチを「切」にして再度電源を入れてエラーを解除してください。それでもエラー表示が解除しない場合はカードのデータが消滅しても問題のない事を確認し、いずれかの操作ボタンを押してそのままフォーマットの操作を続けてください。
	
	「ERROR/No.　　」 内容…本機のシステムエラー 「No.50」、「No.51」以外のエラーNo.が表示している場合は、取付機器本体の電源スイッチを「切」にして再度電源を入れてエラー表示を解除してください。もしエラー表示が消えない場合は販売店や工事店などにご連絡ください。そのときは必ずエラーNo.をお伝えください。

故障と思う前に

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな？と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

症　　状	点検項目「表示部」	対　　策
全く動作しない	組込機器の電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ディスプレイ表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	SDカードが入っていますか。「カードなし」	SDカードを挿入してください。
	SDカードに転送したデータのファイル形式が正しいですか。「NO DATA」	MP3形式データ及び本機で録音した音声データを使用してください。
	SDカードのフォーマット形式は正しいですか。「ERROR/FAT32」	本機でフォーマットしたカードを使用してください。
演奏時間は進んでいるが音声がでてこない	音量が最小になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
SDカードが入らない	本機の中にSDカードが入っていませんか。	SDカードを取り出してください。
	SDカードを裏表逆に入れていませんか。	SDカードのレーベル面を上にして入れてください。
録音ができない	SDカードのメモリー残量が不足していませんか。「録音/メモリ残量なし」	不要なデータを消去してください。
		他のSDカードに交換してください。
	SDカードのファイル数が512を超過していませんか。「録音/メモリ残量なし」	不要なデータを消去してください。
		他のSDカードに交換してください。
録音、消去、フォーマットができない	SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチがロック側になっていませんか。「録音/ライトプロテクト」「設定/ライトプロテクト」	誤消去防止スイッチのロックを解除してください。

著作権法について

■あなたが本機を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集などしたものや、他人の講演などを録音したものは、個人として楽しむなどの他は著作権法上、権利者に無断で使用できません。

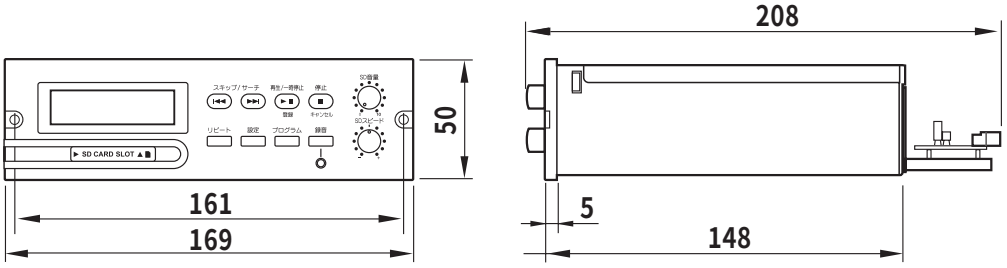
●放送コード、CD、その他の録音物や他人の演奏などは、音楽の歌詞・楽曲と同じく著作権法により保護されています。従って、個人使用の範囲を超えて、それらを録音、編集して、販売・レンタル・譲渡したり、営利のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

●詳しい内容や、著作権物に関する許諾のための手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

定格

電　源　電　圧	DC12V 組込機器本体より受電
消　費　電　流	200mA以下(12V)
表　　示	動作表示:液晶表示 バックライト:発光ダイオード　緑 録音表示:発光ダイオード　赤
適合SDカード	SDA準拠SDカード(16MB～2GB)　　SDHCは除く
ファイルシステム	FAT12、FAT16
ファイル保存最大数	512(SDカードの容量、および、ファイルに依存) 保存は、ルートディレクトリのみ対応。
音声圧縮伸長方式	MP3形式(MPEG1 Audio Layer3)
再生ビットレート	32kbps～320kbps
録音ビットレート	128kbps (サンプリング周波数44.1kHz)
周　波　数　特　性	20Hz～20kHz
再生スピードコントロール	－15%～＋15%可変
S　／　N　比	70dB以上
ダイナミックレンジ	65dB以上
リニアリティ	±1.0dB,0dB(0dB～－40dB)
高調波歪み率	0.2%以下
選　　曲	前後一曲
入　力　感　度	録音入力：－2dBV　±3dB 10kΩ
定　格　出　力	音声出力：－10dBV ±3dB 10kΩ
付　帯　機　能	シングルリピート、オールリピート、リレー再生、プログラム再生、ランダム再生、経過時間表示、スピードコントロール、一時停止、音量調節、消去機能、フォーマット機能
使用温度範囲	0℃～＋40℃
外　　装	パネル　(ABS樹脂)黒色半艶塗装
寸　　法	幅 169mm　高さ 50mm　奥行 208mm
質　　量	約 660 g
付　属　品	取扱説明書(保証書付) 1

外観寸法図 (単位:mm)



製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社